令和元年度　学校だより　６月号

切磋琢磨

令和元年５月29日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町　1073-1
TEL　(0573) 25-5261

宿泊研修で成果をあげる第２ステージ『繋』

校長　伊 藤 勝 彦

授業参観・PTA総会後の９日間にわたる長い連休の後、第２ステージ『繋』がスタートしました。このステージのねらいは、行事や活動を通して仲間との繋がりを強くすること、日常と行事を繋ぐことです。その中心的な活動は宿泊研修です。１年生は6/1~6/2の旭高原研修、２年生は5/20~5/21の若狭研修、３年生は6/5~6/7の東京研修がそれにあたります。これらの各宿泊研修を成功させるために事前・事後の取組も含めて生徒の組織的な動きがよりしっかりできるように取り組んでいます。現在、どの学年も宿泊研修に向けての準備や取組を計画的に進めているところです。

そんな中、２年生が若狭研修を終えて、その成果を生かしながら日常生活の質をあげようと、現在取り組んでいます。２年生は福井県小浜市阿納地区で海の体験活動を行いました。あいにく初日は風が強く海に出ることができませんでしたが、代わりに座禅体験や梅ジュース作りを行い、充実した活動となりました。２日目は天候にも恵まれ、予定通り、箸研ぎ体験や鯛釣り・鯛さばき体験を行いました。２年生の若狭研修では「自律」をめざし、「今、何をすべきか」を考えながら行動することを目標として取り組んできました。２日間の研修で、「見通しをもって行動できた」「時間行動ができた」「呼応の関係が強くなった」など、多くの成果をあげることができました。また、阿納地区の方々の前で披露した東中ソーランや合唱は民宿の方々にたいへん好評で、学年の一体感を示すこともできました。研修後の学校生活は、研修の成果を日常生活に繋ごうと、授業や無言清掃など、研修以前よりも質的に高まった姿が見られています。これは第２ステージ『繋』でめざす姿であり、２年生のたいへんすばらしい姿だと思います。

一方、１年生や３年生は着々と研修の準備を進めています。１年生は、「心を繋ぐ」をスローガンに各係が研修を成功させようと話し合いを進めています。24日にはプレ学年体育大会が行われ、学級対抗大縄跳び大会で学級のまとまりを競っていました。多くの成果が期待される１年生の旭高原研修です。３年生は史上最高の最高学年にふさわしい、楽しく充実した研修にすると共に学びのある研修にもしようと取り組んでいます。とりわけ企業別研修では、グループで話し合いながら有意義な研修になるよう取り組んでいます。24日から始まった事前の取組(ワンだフル間ペーン)では、東京研修をよりよいものにしようとする意気込みがどの生徒・学級からも感じられるものとなっています。

１年生と３年生の宿泊研修は、これから実施されます。これまでの日常生活の様子や事前の取組や準備の様子を見ていると、充実した研修になることが期待されます。

■恵那東中史上はじめての生徒総会

生徒総会での執行部による提案の様子

去る 5/16(木)に、前期生徒総会が行われました。これまで行われた生徒集会とは違い、議題についての提案があり、それについて全校生徒で審議し決定するというものです。議題として、生徒会スローガン「共鳴～429 人の呼応で築く恵那東中学校黄金期～」、前期生徒会活動や各委員会のスローガンや活動方針、第４ステージまでの重点活動などがあげられ、全校で審議、決定しました。事前に学級での議案の読み込みもあり、多くの生徒が挙手し質問等の発言があげられました。全校生徒が繋がった一体感のあるすばらしい生徒総会でした。これも黄金期第２ステージ『繋』の大きな成果でした。後期の生徒総会が期待されます。